U-KACCボイラ

2025
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2019年：初回登録

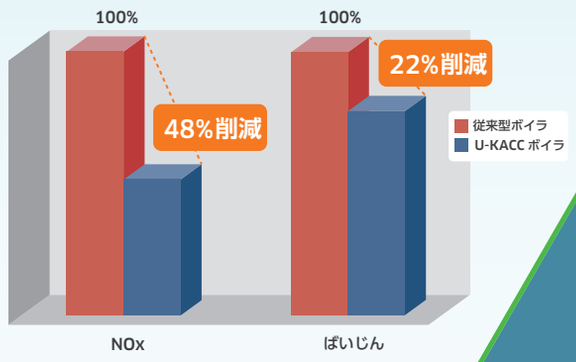
川崎重工業株式会社

Kawasaki
Powering your potential

石油を精製して残った難燃性石油残渣の高効率燃焼、かつ環境負荷物質の排出量削減を実現

当社独自の燃焼技術であるKACC※燃焼により、石油を精製して残った難燃性石油残渣に対して、業界トップレベルの高効率燃焼を実現。それによりNOx及びばいじんの排出量の低減を実現。

※ KACC：Kawasaki Advanced Clean Combustion
高温還元燃焼と低温酸化燃焼を組み合わせた燃焼技術
（U-KACC：Upgrade-KACC）



製品紹介

オイルコークスやアスファルトピッチ等の石油を精製して残った難燃性石油残渣を助燃なしで専焼できるボイラ
（発電出力：36,000kW）

特長

- 燃焼室炉底部で燃焼ガスの流れをU字形の構造とすることで、燃焼ガス中の灰分離を促進。燃焼灰が底部より排出され、伝熱面のダストの付着やダスト閉塞を抑制